



高齢者あんしんセンター希望館たより

9月は世界アルツハイマー月間です！

世界アルツハイマーデー（9月21日）は、国際アルツハイマー病協会（ADI）と世界保健機構（WHO）が共同で認知症への理解をすすめる、本人や家族への施策の充実を目的に1994年に制定。また9月を世界アルツハイマー月間として世界各国で啓発活動を行っています。

なぜ、9月21日なのでしょう？

1994年9月21日、スコットランドのエジンバラで第10回国際アルツハイマー病協会国際会議が開催されました。会議の初日であるこの日を「世界アルツハイマーデー」と宣言しました。

認知症は誰もがかかわる身近な問題

2025年 高齢者5人に1人が認知症の時代へ

平成29年度高齢者白書によると、2012年は認知症患者数が約460万人、高齢者人口の15%という割合だったものが2025年には5人に1人、20%が認知症になるという推計もあります。高崎市は、「いつまでも安心して暮らせるまち 高崎」を目指して、認知症施策についても、さまざまな活動をしています。

その活動については、裏面にて紹介しています。



あんしん オレンジガイドブック
みんな笑顔 認知症になっても住みやすいのまち

「オレンジガイドブック」は、認知症になっても住みやすいまちを目指すためのガイドブックです。認知症になっても安心して生活できるようなまちづくりを目指しています。

もくじ	
認知症の基礎知識	1-2
認知症ケアのしくみ	3-6
予防	7
認知・診断	8
生活支援	9
介護・ケア	10
認知症の法律のしくみ	11-12
認知への支援	13
【あしこい資料】	高齢者の世帯増進事業

高崎市で開催されている **認知症カフェ**

認知症カフェって何ですか？
認知症カフェは、認知症の人や家族、地域住民、専門職などが集まり、交流の場として、認知症の人や家族が安心して暮らすための場として設けられています。参加費は無料です。

何が目的ですか？
認知症の人、ご家族、地域住民、専門職などが、互いに支えあうことができます。

どんなところに行きますか？
認知症の人や家族が安心して暮らすための場として、認知症の人や家族が安心して暮らすための場として設けられています。参加費は無料です。

高崎市では、認知症の人や家族が安心して暮らすための場として、認知症の人や家族が安心して暮らすための場として設けられています。参加費は無料です。

高崎市 小中学生向け認知症サポーター養成講座のご案内

「認知症」は、高齢者に多い病気ですが、実は小中学生にも起こる可能性があります。認知症になっても安心して生活できるようなまちづくりを目指しています。

講座内容
①認知症とは？ ②認知症の予防 ③認知症の症状 ④認知症のケア

講師：認知症サポーター養成講座 講師 青木 里吉 氏

日時：令和5年10月14日（土）10時～12時
会場：希望館 3F 希望館 3F 希望館 3F

参加費：無料

申込：希望館 3F 希望館 3F 希望館 3F

お問い合わせ先：希望館 3F 希望館 3F 希望館 3F

高崎市

認知症になってもあんしんして生活できるように、ガイドブックなどの発行、認知症カフェ、認知症サポーター養成講座を開催しています。掲載している内容が詳しく知りたい方はあんしんセンターまでお問合せください。



希望館内のオレンジカフェは、新型コロナウイルス感染拡大防止のためお休み中です

認知症の対応方法について (同じ話を繰り返す)

同じ話を1日何回もされると、話を聞く方も疲れてしまいますね。ただ、「さっきもその話はきいたよ!」「何回目!」と指摘するのは逆効果です。

相槌をうったり、少し話をきいたあとに、話題を変えてみましょう。



問い合わせ先：高齢者あんしんセンター 希望館

- 住所 江木町1093-1 (老人ホーム希望館内)
- 電話番号 322-4985 (代表) 322-2034 (直通)
- 担当職員名 鳥塚・青木・石井・里吉・田口